

---

# 静止

時流 幌

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

静止

### 【Nコード】

N7175Y

### 【作者名】

時流 幌

### 【あらすじ】

金に困った男が拾った時計。

ある日、俺は路上で古びた時計を見つけた。  
金に困っている俺は人目がないことを確認するとすぐさま拾った。

見てみると、その時計はまだ動いていて、指している時刻はかなり正確なようだ。

俺は有名なブランド物ではないかと思い、刻印を捜したがどこにもなかった。

それどころか作った会社の名前すらない。

これでは高く売れそうにないだろう。

俺はその時計をまた路上に放置しようと思ったが、  
たとえばブランド物ではなくとも時計ならそれなりの値段で売れるだろうと思い直し、

その時計を持ち帰ることにした。

近くのベンチに座りその時計をもう一度よく見てみた。

街頭の時計と見比べてみて、驚いたことに秒単位まで正確なことに気が付いた。

これは意外に高く売れるかもしれない。

俺はそう思うと、この時計が天からのプレゼントとかも知れないと思い、

俺もまだ見捨てられた人間ではないと思った。

それから、俺はその時計をせっかくだからと腕にはめてみたりいじったりした。

そのうち、どこを触ってしまったのか、時計の針が止まってしまった。

そのとき、突如として全ての動きが止まった。

全ての音は止み、道路を走っていた車も静止した。

俺は一瞬混乱したが、SFをよく読んでいた俺はすぐに状況を理解した。

この時計は時を止める時計だ、と。

俺は歓喜した。

俺にもついに運が回ってきたのだ。

これで何でもし放題だ。

ひとまず今は止まった時を戻そう。

俺は小躍りするような高揚した気持ちで触ってしまった部分をもう一度触った。

いや、触ろうとした。

俺は異常にすぐ気付いた。

体が指の一本に至るまで動かないのだ。

俺は今度こそ混乱した。

「どうなっているんだ!!」

口は動かず、心の中だけで叫んだ。

そして俺は気付いた。

時計をはめている俺だけが動けたとしても、周囲の空気は静止したままだということを。

それは同時にこのまま永遠に音もなく、動きのない静の世界に一步も動けず、ただ渴きで死ぬまでここで生きなければならぬという事実を示していた……

そして恐らく、俺が死んだ後もこの世界は静止し続けるのだろ  
う。

しかし、俺にとっては関係のないことだ。

**（後書き）**

よろしければ、感想や評価をお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7175y/>

---

静止

2011年11月21日13時44分発行